



1月1日(火)

## 恨みを持つ

聖書朗読 マタイ 5:21~26

しかし、わたしはあなたがたに言います。兄弟に向かって腹を立てる者は、だれでもさばきを受けなければなりません。兄弟に向かって『能なし』と言うような者は、最高会議に引き渡されます。また、『ばか者』と言うような者は燃えるゲヘナに投げ込まれます。  
マタイ 5:22

どの程度、私たちは兄弟や姉妹に怒りますか？ 冷たくあしらったり、無視したり、もっとひどい態度を取ったりしませんか？ もう終わりにしようと思った時、原因は比較的小さくて、つまらないことだと思います。私たちの関係にひびを入れるほどの価値はありません。私たちは彼らを許すべきなのです。

今日の引用聖句は、この問題に関してはっきりとした教えを与えており、私たちが言葉を口にする時には、気をつけるべきだと気がつかせてくれます。私たちが言葉を選ぶ時は、私たちが何を考えているかも含んでいることになるのです。もし私たちが怒りを感じた時に、その相手にどんな意地悪なことを言ってやろうかと何度も何度も考えたのならば、意地悪な言葉を吐くことは私たちにとって難しいことではなくなります。ですから、もし何を言ってやろうかと考えるようなことをしないのなら、私たちが意地悪な言葉を言い放つことも減るのではないのでしょうか。

私たちが怒りの言葉を口にする時、関係の修復は保障されていません。恨みは私たちに良い影響を与えませんし、多くの場合、“余計な重荷”となり、時には墓場まで持っていかなければならなくなります。

この次、兄弟や姉妹に怒りを感じた時は、ちょっと考える時間を持ち、まず祈りましょう。親切ではない発言は賢くないと気がつくでしょう。イエス様は、私たちに「余計な重荷」から解放されて、自由になってほしいと願っておられるのです。

讃美歌 524

祈り 天の父よ。私たちが発言する前に考える間を持てるようお助けください。あなたからの祝福を私たちは十分に受け取っています。何度赦して下さったことでしょうか！ 一番良い贈り物をありがとうございます。

御子、イエス様の御名において。アーメン。

チャック・グロマン  
ペンシルベニア州 アレンタウン

1月2日(水)

## 2マイルのお陰で

聖書朗読 マタイ 5:38~42

あなたに1ミリオン行けと強いるような者には、いっしょに2ミリオン行きなさい。  
マタイ 5:41

私は毎日2マイル(約3.2キロ)歩くようにしています。大体35~40分かかりますが、その時間を費やす価値があります。なぜならば、体重を管理するのに役立ちますし、背中中の調子も良く、またストレス解消にも役立ちます。長い間を実行した後、私は散歩の利益は2マイル目にあると気がつきました。冬の寒い日は、1マイル目はまだ寒さを感じますが、2マイル目は元気に歩くことが出来ます。

キリスト教は2マイル目に当たる宗教ではないかと思えます。期待されているよりも霊的な交わりをし、期待されている以上のことをする。こうして世界を少しでも良いものへと変える役割を担っているのは、信仰を持つ人々の集まり——教会なのです。仕返しを避け、善と共に悪に打ち勝ち、他の人たちに犠牲を払い、クリスチャンは地上に平和が訪れるよう努力するのです。

とてもシンプルな歌で「毎日、私は良い行いをする」と言う歌があります。その意味することを考えると、かなり大きな約束と言えるでしょう。私は物理的には毎日2マイル目を歩きますが、霊的に同じようにするにはどうしたらよいのでしょうか？ イエス様は私たちにトライする機会を与えてくださいました。私たちは、その機会を逃さず、歩くよう呼ばれているのです。

讃美歌 II83

祈り ああ神様。天国、そして地上の造り主。全ての良いものを与えてくださり、また2マイル目も歩けるよう助けてください。そうすることによって、あなたの御子であるイエス様を証することができますように。アーメン。

ジョン・H・ウィリアムズ  
テキサス州 アビリン

1月3日(木)

## あてにした!

聖書朗読 マタイ 6:19~24

持ち物を売って、施しなさい。自分のために、古くならない財布を作り、朽ちることのない宝を天に積み上げなさい。そこには、盗人も近寄らず、しみもいためることがありません。  
ルカ 12:33

片手にピギーバンク(豚の形の子ども用貯金箱)、もう一方の手ペニー(日本の約1円に値するコイン)を持って、私たち幼稚園生は地元の銀行に預金口座を作ろうと並んでいました。その時に「ペニーを貯金すれば、ダイム(約10円)、ドル(約100円)へと育つよ」と歌っていました。

それは良い歌ではなかったかもしれませんが、昔の知恵を思い出させます。『急に得た財産は減るが、働いて集める者は、それを増す。』(箴言13:11)

しかしながら今、私たちのピギーバンクは粉々になりました。地元の銀行は廃業してしまっただけです。当時幼稚園生だった私たちは大人になり、その歌も忘れてしまいました。私たちはペニーよりも多いものを持っていたはずですが、ペニーがドルになっていたはずなのに。

イエス様は近寄った私たちを、薄暗い記憶、ばら撒かれた陶器、保証できない希望のないずっと増えることのない退職口座、日々の株価から、呼び寄せられました。不確かなものは過ぎ去ります。『すべての物を豊かに与えて楽しませてくれる神に望みを置き』、『未来に備えて良い基礎を自分自身のために築き上げるように』(1テモテ 6:17, 19)しましょう。

讃美歌 339

祈り 主よ。私たちは毎日、所得が伸びることと組み合わせて、高利益を提供する宣伝を耳にします。私たちは試されています。悪からのそそのかしに乗りたくないようお導きください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

エルマー・プロウト

カリフォルニア州 ウッドランド

1月4日(金)

## 弁当箱で学んだこと

聖書朗読 マタイ 23:25~32

デマスは今の世を愛し、私を捨ててテサロニケに行ってしまい、・・・

Ⅱテモテ 4:10

買い物リストにあるもの全て、鉛筆、消しゴム、紙、ノート、定規、コンパス、ゴムのりを乗せて買い物カートを押していて、新しい秋服も試したりして、一番難しい決断をする時が来ます。どのお弁当箱にするか? です。

選んだら取り消せないし、1回しか選べないからです。どのお弁当箱を今年度、毎日学校に持っていか・・・カウボーイ柄、スーパーヒーロー柄、目新しい柄、それとも別のデザイン? それはとても重要な決断です。なぜなら他の子たちがあなたをどの種類のお弁当箱を持っているかで判断するからです。

私は他の人がどう思うかを考慮してされた決断は、私たちが幸せにしないことを見てきました。本当の幸せは私たちが誰であるかであり、私たちが何を持っているかではないのです。

それは今でも事実です。神様だけが私たちの個性を考えられるのです。神様は私たちが持っているものを他の人たちと分け合うことを望まれています。どの「お弁当箱」を選ぶかは関係ないのです。今日、私たちは神様の愛に基づいた決断が出来るのです。

讃美歌 85

祈り 天のお父様。他の人がどう思うか心配しないようにお助けください。あなたを喜ばせることに集中できるようにしてください。

御子、イエス様の御名によって。アーメン。

ジョン・G・マキール

カリフォルニア州 サンディエゴ

1月5日(土)

## 平和よ、とどまってください

聖書朗読 マルコ4:35~41

志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。その人があなたに信頼しているからです。  
イザヤ 26:3

気がついていましたか？ 人生は楽じゃない！ 質素にやっても試練や人生の嵐は常に生活の一部です。私には、数年間の厳しい時期に、元気づけてくれた友達がいます。彼は幅広い肩を持ち、サポートする姿勢の感じられる抱擁をしてくれます。私は彼を信頼していて、地上での父だと思い、ありがたい贈り物をとても感謝して受け取っています。このように、彼は人生の様々な場面で私と共に居てくれたのですが、だからと言って、彼は、私がどんな状況でも必ず慰めることが出来る力を神様からいただいていた、ということではありません。彼がしてくれた私に対する励ましや慰めは、まさに神様の私たちに対する恵みを映すようなものでしたが、彼の力で完全に私が楽になったわけではありません。ありがたいことに、天におられる神様が、誰にも出来ない方法で慰めてくださると約束されたのです。神様は絶対にご自分の子どもたちを放置しないと約束されました。神様の愛は嵐にも打ち勝つものですが、この真理が現実のものとなるためには、まず私たちが神を信頼するということが大事なのです。神様の開かれた腕は待っていてくださるのです！

私は約束します。私は絶対に離れません。あなたは私の心の中にいます！ 私はあなたに自由を与えます。もしあなたが私に対し、心を開きさえしてくれるのなら、あなたがこの世で生き抜くために必要なものを提供します。私の愛はあなたを守るためにあります。私は腕を広げて待っています。

キャシー・メレディス

讃美歌 295

祈り 父なる神よ。あなたの愛、癒し、そして平安に感謝いたします。あなたの約束とあなたがいつもそばにいらっしゃることを覚えられるよう、私たちに助けてください。

あなたの御子、イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

キャシー・R・メリディス

テキサス州 フォートワース

1月6日(日)

## 祝福はやってくる

聖書朗読 マルコ 5:21~43

そこで弟子たちはイエスに言った。「群衆があなたに押し迫っているのをご覧になって、それでも『だれがわたしにさわったのか』とおっしゃるのですか。」

マルコ 5:31

7月に長男と二男をドジャース(野球チーム)の試合に連れて行きました。私たちは最後の盛大な花火を見るために、試合後も残りました。子どもたちにとって、その花火はまるでマジック・ショーを見ているかのようなものでした。帰路ついてからも、予期しなかった素晴らしい大きく広がった花火を見ることが出来ました。家に帰る途中で、そんな予期しないサプライズがあるなんて。

普段私は、高速道路で運転していると、「神様は(渋滞など)こんなひどい交通状況の中に、私をお見捨てになったのでは」と不安や怒りの気持ちで一杯になる時がよくあります。でも昨晚、私が普段使う同じ高速道路で、小学校に上がる前の年齢の私の子どもたちが大喜びで興奮の声を上げているのを聞きながら、私の心は愛と賛美で満ちたのです。

福音書に記されている出来事には、イエス様がどこかへ行く「途上」に起こる出来事がたくさんあります。マルコによる福音書5章でイエス様は、あるとても重要な所へ行く途中で、たくさんの人々がまとわりついている状況です。イエス様はたくさんの人に取り囲まれた中で『だれがわたしにさわったのか』とおっしゃいました。イエス様は足を止められ、病気の女性の信仰心に目を留められました。そして、群衆の中で彼女の病気が治るよう言葉をかけられました。この出来事は、多くの人々が「早く目的地に着けばいいのに」と、ただ不満に満たされるだけでも成り得る「旅の途上」に起こった出来事でしたが、この女性にとっては、人生を大きく変えるような出来事になったのです。

私の人生の旅路が、神に信頼しつつ、旅の途上の出来事(にある恵み)にもっと注意深くなる事が出来ますように。私の車の(子どもたちが座っている)後部座席でもお働きになる神様の業に、しっかりと気づくことが出来ますように。

讃美歌 291

祈り 父なる神よ。神様はご自身で立てられたご計画とその目的を持っておられ、それを遂行なさる神様の支配が及ばない所など無い、ということをお知らせされるようお助けください。

イエス様の御名をもってお祈りいたします。アーメン。

デイビッド・レムリー

カリフォルニア州 マリブ